



春の大切な映画上映会



政権交代しても、地域住民を無視する
国の政策が強制されるとしたら
我々は、いったいどうすればいいのか。

記録映画



製作・監督 西山 正啓

「獅子たちの抵抗」

映画89分

～国策の強制に抗う人々～

もし自分達の住んでいる土地に基地ができて、住んでいる場所や美しい自然を奪われてしまったら・・・。

もし原発事故が起きて、自分達の町を捨てて遠くへ逃げなければならなくなったら・・・。

そんなの嫌だっ！て国の政策に反対する人々の熱く険しい物語。

米軍基地や核燃サイクル施設・原発がある青森県。他人事じゃないはずです。

上映日時

場所



平成26年 金曜日

5月9日

午後7時開場

午後7時30分開演

ライブ小屋青森亭
青森市本町2丁目7-23
ジャスマックビル交差点
海手「本町らーめん館」内
ワシントンホテルより徒歩3分

料金

1,500円
(ワンドリンク付き)

同時開催！交流会！

映画上映後に交流会開催！
映画の内容とか日頃思ってる事
話したいことを

みんなでワイワイ話そう！
歌とお話と絵をミックスした
ライブもあるよ！

チケットなどのお問合わせ
E-mail: gaubin@nifty.com
(大切な映画上映会実行委員会)

映画主催
大切な映画上映会実行委員会



記録映画「獅子たちの抵抗～国策の強制に抗う人々」映画概要



3/11以来、原発事故に向き合う人々の声を記録することに奔走してきたが、昨年後半からこれまで記録しながら作品化していなかった素材を整理・編集することにした。政権交代後、沖縄の米軍基地と原発が民主主義を無視した、この国の重大な差別（棄民）政策だということが鮮明になってきたからである。

無理矢理、強引に迫ってくる国策。止むに止まれず抗議の声を上げ抵抗する住民。事なかれ主義が蔓延し、見て見ぬふりをする社会。中立を装い、意見表明しない地域風土の中で直接的な社会行動への参加者は3/11までは決して多くなかった。必死に踏ん張る彼らの行動に対して、現場に足を運んだこともない輩が他人事のように「一部の特別な人間が抗議しているだけ」と、彼らや、それに拘わる記録表現を軽視する傾向が強かったが、3/11後はもう誰も他人事ではいられなくなった。

映画「獅子たちの抵抗～国策の強制に抗う人々」は2004年沖縄国際大学に墜落炎上した米ヘリ事故から辺野古基地反対座り込み、ボーリング調査阻止行動、大分県日出生台演習場の米海兵隊による実弾砲撃訓練に反対する抗議行動など、この10年の記録を縦軸に、昨年3月に沖縄を訪問、普天間、高江、辺野古、伊江島、読谷などを訪れた福島原発告訴団の武藤類子さんと現地で闘う人々との交流を横軸にして構成してみたいと思った。

国策に抗議する現場の10年の流れを編集してみるとそうそうたる人々が登場する大絵巻だということに気づく。この間、映画の中に勇姿を刻んだ日出生台での作家・松下竜一さん、辺野古ヘリ基地反対協議会の大西照雄さん、テント村村長だった当山栄さんが亡くなられた。編集しながら改めて追悼の念を込め、ラストに「感謝と愛を込めて」というメッセージを書かせて頂いた。

西山正啓 製作・監督 / 89分 / 2014年作品

★問い合わせ / E-mail aitaro7@yahoo.co.jp

○「ライブ小屋青森亭」につきまして



- ・専用駐車場はございません。お車でお越しの方は、地図内の点の場所に有料のコインパーキングがございますので、そちらをご利用ください。
- ・最寄バス停は、青森市役所前バス停より徒歩10分、新町2丁目バス停より徒歩5分となっております。
- ・店内の収容人数は最大で30人です。チケットの販売が30人に達した時点で、販売を締め切らせていただきます。ご了承ください。
- ・食事は事前にご連絡いただければ軽食を有料でご用意できます。その場合は主催者までご連絡ください。
- ・軽食を注文されないお客様は、上映前に食事をお取りいただくことをお勧めいたします。
- ・チケットにワンドリンクがついております。アルコール、ソフトドリンクどちらも可能です。追加注文につきましては、メニューより有料で承ります。